

平成20年3月4日

環境保全活動に関するお知らせ

日清紡績株式会社
取締役社長 岩下 俊士

今般、古紙パルプ配合率の乖離を発生させたことにより、お客様をはじめ、お取引先様、関係者の皆様に対し、多大なるご迷惑をおかけする結果となりましたことを深くお詫び申し上げます。

古紙パルプ配合率問題の発覚後直ちに当該商品の生産を中止し、その後お客様から要請がありました商品については、実態の古紙パルプ配合率で了解を頂いた上で生産を再開いたしました。

弊社としては、従前から、企業公器を経営理念として掲げ、社会や地球環境との調和を図り、公正・誠実な事業活動を行ってまいりました。

また、環境への取り組みについては、2000年に「環境問題を事業活動の重要な柱のひとつと捉え、地球環境の改善に積極的に取り組む」ことを基本理念とした「日清紡環境憲章」を制定し、積極的な取り組みを行ってまいりました。

しかしながら、今回の古紙パルプ配合率問題については、如何なる理由によりましても、事業を通じて社会に貢献すべき企業にとって、あってはならないことであります。経営理念に反するこのような問題を現実起こしたことを真摯に受け止め深く反省するものです。

弊社としては、再発防止に向けた取り組みを進める一方、今後は地球環境保全活動の一環として、以下の事項について重点的に取り組んでまいります。

また、弊社は日本製紙連合会には加盟しておりませんので、同連合会の呼びかけによる環境保全活動へは参加いたしません。弊社独自の立場で「循環型社会への貢献」を図ってまいります。

(1) 環境配慮型商品の展開

古紙配合商品の製造技術の向上や商品ラインアップの見直しなどの取り組みを行い、再生紙の継続的生産を通して、リサイクルシステムの一部を担ってまいります。

また、F S C (森林管理協議会) の趣旨に賛同し、当協議会の認証を取得いたしました。今後、持続可能な森林から適切な管理の下で伐採された森林材を原材料として製造した商品を、F S C森林認証商品として重点的に拡充して行くことで、森林資源の保護に貢献してまいります。

(2) 「緑の募金」への協賛

弊社では、社団法人 国土緑化推進機構ほかが進めている「美しい森林づくり推進国民運動」と連携した「緑の募金」に協賛することを決めました。この活動への寄付を通じて、災害跡地での森づくりや地球温暖化の防止に向けた森づくりを支援させていただきます。

今回の問題でご迷惑をおかけしましたお客様、お取引先様、関係者の皆様に改めて深くお詫び致しますとともに、今後の弊社の取り組みにご理解を賜りますようお願い申し上げます。